

農001	項目名	農産物加工センター管理運営費	新規事業
予算書項目	農産物加工センター管理運営費	ページ	227
年度	R5	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-30-8302 【1次総の施策体系】2104		
款 農林水産業費	【事業の経過及び背景】 本市では、農産物の加工技術の習得・向上による地域農業の振興等と、共同利用による地域住民の連帯感の醸成を図るため、農産物加工等施設を整備している。現在は、施設の効率的な運営管理と併せ、「鳥取市公共施設再配置基本計画」に基づき、施設の地元移管等も進めている。		
項 農業費	【事業の目的及び効果】 老朽化等による農産物加工等施設の修繕を行い、各施設の機能保全を図る。		
目 農業総務費	【事業の内容】 農産物加工等施設の管理運営 ・ 直営施設 鳥取市農産物加工センター、成器地区農産物加工施設、麻生地区農産物加工施設、大茅地区農産物加工施設、福部町アイデア館、社農産物加工施設、大村農産物加工施設、気高町農産物加工施設 ・ 指定管理施設 神戸ふれあいセンター、東郷農産物加工施設、国府町転作促進集会所研修施設、七章の家、佐治町農産物加工センター、鹿野そば道場、鹿野おもしろ市場、鹿野ふるさと加工所、青谷ようこそ館、いかり原牧場、かちべ伝承館		
(単位:千円)	【事業の実績】 令和2年度 28,877千円 令和3年度 26,139千円 令和4年度 29,616千円(見込)		
前年度当初予算額	24,109	※その他財源の使用料は、農産物加工センター使用料、電柱敷地使用料及び駐車場用地使用料	
本年度要求額	28,528	※その他財源の諸収入は、佐治地区保健センター光熱水費負担金	
総務部長段階査定額	27,152	その他財源の内訳	
市長段階査定額	27,152	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	1,784
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	3,000	財産収入	0
その他	1,937	寄付金	0
一般財源	22,215	繰入金	0
計	27,152	雑収入	153
		その他	0
備考欄			

農002	項目名	新規就農推進事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	227
年度	R5	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104(実施計画関連事業)		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市では、農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保や円滑な就農定住を促進するための支援を行っている。 また、地域農業の担い手として位置付けられる農業経営者が、その経営を移譲する親族(子)に対して実施する農業技術や経営ノウハウ等の研修に対しても支援を行っている。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 農業研修生や農業後継者の確保及び円滑な就農のための支援。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ①農業体験者 3人 4,960千円 ②親元就農研修 4人 4,800千円		
前年度当初予算額	12,892	【事業の実績】 令和2年度 親元就農研修5人 10,061千円 令和3年度 親元就農研修5人、農業体験者1人 11,592千円 令和4年度 親元就農研修3人、農業体験者2人 12,984千円(見込)	
本年度要求額	16,285		
総務部長段階査定額	16,285	その他財源の内訳	
市長段階査定額	16,285	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	3,200	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	13,085	繰入金	0
計	16,285	雑収入	0
		その他	0
備考欄			

農003	項目名	新規就農営農支援事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	227
年度	R5	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 (実施計画関連事業)		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市では、新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として経営開始資金等の給付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、機械施設導入に係る経費助成を行っている。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 新規就農を目指す青年等の就農初期の経営を支援することで、就農時の負担軽減を図るとともに、安定経営に繋げる。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	37,060	①農業次世代人材投資事業 2人 2,250千円 推進事務費(人件費含む) 3,218千円	
本年度要求額	28,073	②経営開始資金 5人 7,500千円 ③農地賃借料助成事業 5人 561千円 ④就農条件整備事業 4人(県1/3・市1/6) 14,544千円	
総務部長段階査定額	28,073	【事業の実績】	
市長段階査定額	28,073	令和2年度 27,127千円 令和3年度 15,117千円 令和4年度 23,327千円(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳	国・県支出金 22,248	①農業次世代人材投資事業 2人 2,250千円 推進事務費(人件費含む) 3,218千円	
地方債	0	②経営開始資金 5人 7,500千円	
その他	0	③農地賃借料助成事業 5人 561千円	
一般財源	5,825	④就農条件整備事業 4人(県1/3・市1/6) 14,544千円	
計	28,073	【事業の実績】	
備考欄		令和2年度 27,127千円 令和3年度 15,117千円 令和4年度 23,327千円(見込)	

農004	項目名	農業公社運営事業補助金	新規事業
予算書項目	農業公社運営事業補助金	ページ	227
年度	R5	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取市農業公社は、平成20年の国府・鹿野・青谷の公社統合と平成25年の一般財団法人化を経て、高齢化や後継者不足に対応するため、農地保有合理化事業と農作業受託事業を行い地域農業の振興に寄与してきた。		
目 農業総務費	農地賃借料助成事業として、鳥取、福部、国府、鹿野、青谷地域における農地の流動化や荒廃農地の拡大防止に取り組んでいる。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】 農地保全及び集積による地域農業の振興と、農村地域の維持発展に寄与することを目的とする農業公社の円滑な運営を図る。		
前年度当初予算額	9,476	【事業の内容】	
本年度要求額	12,966	公社事務局事業 4,285千円 農地中間管理事業 1,968千円 農地保全等事業 3,223千円 補助率: 10/10	
総務部長段階査定額	9,476	【事業の実績】	
市長段階査定額	9,476	令和2年度 9,476千円 令和3年度 9,476千円 令和4年度 9,476千円(見込)	
区分	本年度予算額	【令和2年度】 【令和3年度】 【令和4年度】	
財源内訳	国・県支出金 0	農地集積円滑化事業実施面積 110.5ha 96.8ha 74.4ha(見込)	
地方債	0	延べ農作業受託面積 49.7ha 44.6ha 45.1ha(見込)	
その他	0		
一般財源	9,476		
計	9,476		
備考欄			

農005	項目名	共同利用施設整備等事業費	新規事業
予算書項目	共同利用施設整備等事業費	ページ	227
年度	R5	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-30-8302		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市では、地域農業の振興により雇用創出や所得向上を目的に、市内各地に農作業場や農機具保管庫等の共同利用施設を整備している。現在は、施設の効率的な運営管理と併せ、「鳥取市公共施設再配置基本計画」に基づき、これらの施設の地元移管等を進めている。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 経年劣化等による共同利用施設の修繕を行い、施設の機能保全を図るとともに、将来的に地元等への移管の円滑化につなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 地元へ施設の貸付・移管を行うため、施設の修繕、工事等を行う。		
前年度当初予算額	5,575	【事業の実績】 令和2年度 13,013千円 令和3年度 16,500千円 令和4年度 13,184千円(見込)	
本年度要求額	9,386	・施設譲渡等 令和2年度 2施設 令和3年度 0施設(4施設協議) 令和4年度 地元譲渡:2施設、施設解体:1施設(見込) (12施設譲渡等協議中)	
総務部長段階査定額	9,124	※その他財源の使用料は、電柱敷地使用料及び駐車場用地使用料	
市長段階査定額	9,124	【その他財源の内訳】	
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	88
地方債	0	手数料	0
その他	88	財産収入	0
一般財源	9,036	寄付金	0
計	9,124	繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
備考欄			

農006	項目名	果樹振興対策事業費	新規事業
予算書項目	園芸産地づくり事業費	ページ	229
年度	R5	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104(実施計画関連事業)		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市の果樹栽培は、近年、生産者の高齢化、後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数、栽培面積、生産量がいずれも減少を続けている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 果樹の生産から出荷、販売に際して支援していくことで、果樹生産の総合的な振興を図り、消費拡大、生産者の意欲向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	20,239	①鳥取梨生産振興事業(新甘泉、二十世紀、王秋ほか) 計6事業者 ・新植、改植、果樹棚、かん水、防風施設等整備 4,745千円(補助率:県1/2~3/4) ・育成促進(奨励金) 1,056千円(補助率:200千円/10a 県1/2・市1/2) ・育苗育成促進対策 1,673千円(補助率:県2/3) ・低コスト・体制強化 1,023千円(補助率:県1/3)	
本年度要求額	22,698	②鳥取柿ぶどう等生産振興事業(柿・ぶどう) 計8事業者 ・新植、改植、果樹棚、かん水、防風施設、ハウス等整備等 12,410千円(補助率:県1/2) ・育成促進(奨励金) 354千円(補助率:48千円/10a、94千円/10a、県1/2・市1/2) ・低コスト・体制強化 1,437千円(補助率:県1/3)	
総務部長段階査定額	22,698	【事業の実績】 令和2年度 11,021千円 令和3年度 16,692千円 令和4年度 14,892千円(見込)	
市長段階査定額	22,698	【その他財源の内訳】	
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	21,993	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	705	寄付金	0
計	22,698	繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
備考欄			

農007	項目名	みんなでやらいや農業支援事業費		新規事業																				
予算書項目	みんなでやらいや農業支援事業費		ページ	229																				
年度	R5		所 属 名																					
			農林水産部 農政企画課																					
会計名		事業の概要																						
一般会計		【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304																						
款	農林水産業費	【1次総の施策体系】2104																						
項	農業費	【事業の経過及び背景】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画（プラン）に対し支援を行うことで、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図ってきた。																						
目	農業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲ある農業者、農業集団等が目的達成のために作成したプランに位置づけた取組に対し支援を行い、地域農業の振興や活性化を図る。																						
(単位:千円)		【事業の内容】 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 (補助率)ハード:県1/3・市1/6、ソフト:県1/2・市1/7 (補助上限額)個人:4,500千円、法人等:10,500千円																						
前年度当初予算額	15,000	○令和5年度実施予定 ・がんばる農家プラン事業費補助金 鳥取(継続3件)コンバイン、トラクター、乾燥機ほか 16,249千円 国府(継続1件)コンバイン、フレコン計量器ほか 4,500千円																						
本年度要求額	33,090	【事業の実績】 令和2年度 10,451千円 令和3年度 6,245千円 令和4年度 24,230千円(見込)																						
総務部長段階査定額	20,749	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
市長段階査定額	20,749	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>13,832</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,917</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,749</td> </tr> </table>			区 分	本年度予算額	国・県支出金	13,832	地方債	0	その他	0	一般財源	6,917	計	20,749								
区 分	本年度予算額																							
国・県支出金	13,832																							
地方債	0																							
その他	0																							
一般財源	6,917																							
計	20,749																							
備 考 欄																								

農008	項目名	中山間地農業応援事業費		新規事業																				
予算書項目	中山間地農業応援事業費		ページ	229																				
年度	R5		所 属 名																					
			農林水産部 農政企画課																					
会計名		事業の概要																						
一般会計		【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304																						
款	農林水産業費	【1次総の施策体系】2104																						
項	農業費	【事業の経過及び背景】 近年、米をはじめとした農産物の価格が下落し、収入減少により農業者の経営に大きな影響が生じている。特に中山間地域においては担い手の高齢化や耕作条件不利地であることから耕作者が年々減少し、耕作放棄地の増加が課題となっている。																						
目	農業振興費	【事業の目的及び効果】 中山間地域の農業者に対し、農作業の効率化や生産力向上を図るための機械導入への支援、また、環境に配慮した農業や有機農業など経営発展を行う取組を支援することにより、中山間地域での農業経営の継続・発展と農地の維持を図る。																						
(単位:千円)		【事業の内容】 耕作条件が不利な中山間地の耕作を行う認定農業者等の中で、農地拡大や耕作放棄地の再生といった意欲ある取組を行う者に対し、農作業の効率化や生産力向上を図る取組に係る経費を支援する。 補助率:1/3 補助上限額:1,500千円																						
前年度当初予算額	0	○令和5年度実施予定 鳥取(2件)ドローン、トラクター 1,846千円 福部(1件)ロボット草刈り機 311千円 佐治(1件)トラクター、コンバイン 1,333千円																						
本年度要求額	5,000	【事業の実績】 令和4年度 5,000千円(見込)																						
総務部長段階査定額	3,490	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>3,490</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	3,490	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	3,490																							
贈収入	0																							
その他	0																							
市長段階査定額	3,490	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,490</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,490</td> </tr> </table>			区 分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	3,490	一般財源	0	計	3,490								
区 分	本年度予算額																							
国・県支出金	0																							
地方債	0																							
その他	3,490																							
一般財源	0																							
計	3,490																							
備 考 欄		※その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金																						

農009	項目名	農産物販路拡大支援事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)		新規事業	○
予算書項目	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	229	所属名	農林水産部 農政企画課
年度	R5				
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304				
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104(実施計画関連事業)				
項 農業費	【事業の経過及び背景】 食の「安全・安心」が求められている中、本市の魅力ある農産物等をマルシェや試食宣伝・商談会などを通して関西圏を中心にPRしてきた。しかし、潜在的な需要はあるものの、安定的な供給が困難な事や、流通コスト高などにより、取引が広がらない現状にある。この課題を解決するために、産地化によるロットの確保や地域商社を活用した物流・商流の多角化などを推進していく必要がある。				
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 県内外のバイヤーの実需を把握し、集荷から販売までのトータルでの販路開拓を行うとともに、「麒麟のまち関西情報発信拠点」との連携によるマルシェの開催や商談を通して広域的なPR活動を行い、因幡圏域の農林水産物等の知名度アップを図ることで、鳥取地域の農産物のブランド化を推進する。				
(単位:千円)	【事業の内容】 ・マルシェ 24件 ・商談事業 50回(現地商談10回・訪問商談30回・リモート商談10回)				
前年度当初予算額	0	①とっとり旬菜マルシェ等開催業務 2,000千円 ②麒麟のまち特産品商談業務 1,500千円 ③米の流通及び消費拡大業務 1,000千円 ④麒麟のまち賑わい創出事業 3,300千円			
本年度要求額	7,800	【事業の実績】 令和2年度 11,882千円 令和3年度 8,165千円 令和4年度 5,000千円(見込)			
総務部長段階査定額	7,800	【事業の内容】			
市長段階査定額	7,800	・マルシェ 24件 ・商談事業 50回(現地商談10回・訪問商談30回・リモート商談10回)			
区分	本年度予算額	①とっとり旬菜マルシェ等開催業務 2,000千円 ②麒麟のまち特産品商談業務 1,500千円 ③米の流通及び消費拡大業務 1,000千円 ④麒麟のまち賑わい創出事業 3,300千円			
財源内訳	国・県支出金 6,240	【事業の実績】			
	地方債 0	令和2年度 11,882千円			
	その他 0	令和3年度 8,165千円			
	一般財源 1,560	令和4年度 5,000千円(見込)			
	計 7,800				
備考欄					

農010	項目名	スマート農業実装加速化促進事業費		新規事業	
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	229	所属名	農林水産部 農政企画課
年度	R5				
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304				
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104(実施計画関連事業)				
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市では、農業者の高齢化等による担い手の減少や耕作放棄地の増加等が進んでおり、持続可能な農業を実現するための方策として、省力化技術の開発・導入が課題となっている。				
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 農作業の負担軽減や技術伝承に資する農業機械・設備(スマート農機)や、パソコン、タブレット等の電子機器で作業管理や環境を測定する生産管理システム等の導入を行う農業者を支援することで、スマート農業を普及拡大させ本市の農業振興を図る。				
(単位:千円)	【事業の内容】 作業及び農業経営の効率化を図るためのICTやロボット技術を活用した機械及び設備の導入経費等に対する補助金 補助率:1/2(県:1/3、市:1/6) 補助上限額 ※共同利用で上限額の嵩上げあり ・個人:4,500千円(共同利用:9,000千円) ・法人等:10,500千円(共同利用:21,000千円)				
前年度当初予算額	11,638	○令和5年度実施予定 気高(1件)食味・収量センサー付きコンバイン、防除用ドローン 7,630千円 河原(1件)GPS付きトラクター、防除用ドローン 4,086千円 福部(1件)気象観測器、ロボット草刈機 568千円 鳥取(1件)直進アシスト付き田植機 2,520千円 国府(2件)防除用ドローン、GPS付きトラクター 9,000千円			
本年度要求額	23,804	【事業の実績】 令和3年度 13,022千円 令和4年度 22,562千円(見込)			
総務部長段階査定額	23,804	【事業の内容】			
市長段階査定額	23,804	作業及び農業経営の効率化を図るためのICTやロボット技術を活用した機械及び設備の導入経費等に対する補助金 補助率:1/2(県:1/3、市:1/6) 補助上限額 ※共同利用で上限額の嵩上げあり ・個人:4,500千円(共同利用:9,000千円) ・法人等:10,500千円(共同利用:21,000千円)			
区分	本年度予算額	○令和5年度実施予定			
財源内訳	国・県支出金 15,868	気高(1件)食味・収量センサー付きコンバイン、防除用ドローン 7,630千円			
	地方債 0	河原(1件)GPS付きトラクター、防除用ドローン 4,086千円			
	その他 0	福部(1件)気象観測器、ロボット草刈機 568千円			
	一般財源 7,936	鳥取(1件)直進アシスト付き田植機 2,520千円			
	計 23,804	国府(2件)防除用ドローン、GPS付きトラクター 9,000千円			
備考欄					

農011	項目名	次世代農業推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	新規事業	○
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	229	所 属 名
年度	R5	農林水産部 農政企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104(実施計画関連事業)			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市では、農業者の高齢化等による担い手の減少や耕作放棄地の増加等が進んでおり、一次産業の衰退が懸念される中、スマート農業の導入による省力化・効率化による高収益な農業経営が求められている。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の農業が抱える課題が多くある中、先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による作業の効率化・軽減化、また、本市の自然エネルギーの農業への活用研究などに取り組むことで、新たな農業の担い手の確保につなげるとともに、本市の農業の振興を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	0	①先進的農業普及業務 1,000千円 ドローン操縦資格取得等支援		
本年度要求額	2,000	②JGAP普及業務 1,000千円 JGAP指導員認証支援		
総務部長段階査定額	2,000	【事業の実績】		
市長段階査定額	2,000	令和2年度 43,590千円 令和3年度 7,508千円 令和4年度 7,330千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
財源内訳	国・県支出金 1,600	①先進的農業普及業務 1,000千円 ドローン操縦資格取得等支援		
	地方債 0	②JGAP普及業務 1,000千円 JGAP指導員認証支援		
	その他 0	【事業の実績】		
	一般財源 400	令和2年度 43,590千円 令和3年度 7,508千円 令和4年度 7,330千円(見込)		
	計 2,000			
備考欄				

農012	項目名	鳥の農場文化交流創造事業費	新規事業	○
予算書項目	鳥の農場文化交流創造事業費	ページ	229	所 属 名
年度	R5	農林水産部 農政企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2202(実施計画関連事業)			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 NPO法人「鳥の劇場」は、「鳥の演劇祭」を毎年開催し、本市の文化芸術の振興や、劇場を中心とした賑わい創出に寄与している。			
目 農業振興費	本市は、鳥の劇場、鳥取県、地域住民などと連携し、舞台芸術を活用した地域の活性化を推進している。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】 鳥の劇場と連携し、農業への理解と地域への愛着を深める新たな機会の創出を図る。また県内外における公演とあわせてマルシェを開催し、地元農産物を積極的にPRし知名度アップを図ることで、本市農業の生産振興及び販路拡大につなげる。			
前年度当初予算額	0	【事業の内容】		
本年度要求額	3,000	①鳥の農場舞台公演委託事業 1,500千円 ・小中学生と地元生産者による農業に関する研究発表		
総務部長段階査定額	3,000	②鳥の農場舞台マルシェ委託事業 1,000千円 ・地元公演に合わせたマルシェ開催		
市長段階査定額	3,000	③鳥の6次化新商品開発支援 100千円×5件 ・地域特産品で新商品を開発		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
財源内訳	国・県支出金 1,500	①鳥の農場舞台公演委託事業 1,500千円 ・小中学生と地元生産者による農業に関する研究発表		
	地方債 0	②鳥の農場舞台マルシェ委託事業 1,000千円 ・地元公演に合わせたマルシェ開催		
	その他 0	③鳥の6次化新商品開発支援 100千円×5件 ・地域特産品で新商品を開発		
	一般財源 1,500			
	計 3,000			
備考欄				

農013	項目名	畜産振興対策事業費	新規事業
------	-----	-----------	------

予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	229
-------	-----------	-----	-----

年度	R5
----	----

所属名	農林水産部 農政企画課
-----	----------------

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	畜産業費

(単位:千円)

前年度当初予算額	3,581
----------	-------

本年度要求額	4,100
--------	-------

総務部長段階査定額	4,100
-----------	-------

市長段階査定額	4,100
---------	-------

区分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	4,100
計	4,100

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収	0
その他	0

備考欄	
-----	--

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【1次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
本市では、鳥取和牛のブランド化・生産拡大等、畜産振興に係る支援を行っている。畜産業はTPP（環太平洋パートナーシップ協定）や日EU・EPA（日EU経済連携協定）等の国際協定による影響で、販売価格や飼料価格等の生産コストが変動しやすく、不安定な経営状況にある。今後も畜産農家の経営の安定化と畜産振興につながる施策が必要である。

【事業の目的及び効果】
・放牧料の一部を助成することにより増頭とコスト削減を図る。
・地域ブランド「鳥取和牛」の生産拡大を図る。

【事業の内容】
①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 2,190千円
公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成。
②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 1,144千円
農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成。
③肉用牛・乳用牛肥育経営体質強化対策事業（補助率：市1/20） 766千円
全国飼料供給安定基金の過去3年間平均単価と当該年の差額の一部を助成。

【事業の実績】
令和2年度 2,908千円
令和3年度 3,292千円
令和4年度 4,095千円（見込）

農014	項目名	和牛再生促進事業費	新規事業
------	-----	-----------	------

予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	229
-------	-----------	-----	-----

年度	R5
----	----

所属名	農林水産部 農政企画課
-----	----------------

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	畜産業費

(単位:千円)

前年度当初予算額	7,334
----------	-------

本年度要求額	2,982
--------	-------

総務部長段階査定額	2,982
-----------	-------

市長段階査定額	2,982
---------	-------

区分	本年度予算額
国・県支出金	1,988
地方債	0
その他	0
一般財源	994
計	2,982

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収	0
その他	0

備考欄	
-----	--

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【1次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
本市では、鳥取和牛のブランド化・生産拡大を図るため、農家の繁殖雌牛の増頭を進め、和子牛の生産及び肉牛の出荷頭数の増加に取り組んでいる。令和2年10月に「鳥取県産和牛の保護及び振興に関する条例」が県にて交付されたことを受け、更に和牛を本市の基幹産業として基盤強化する必要がある。

【事業の目的及び効果】
畜産を取り巻く経営環境が依然として厳しい今、優良繁殖雌牛導入支援を行うことで、将来的に生産者の畜産経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランドカアップを図る。

【事業の内容】
繁殖雌牛導入に伴う助成支援（外部導入9頭、自家保留9頭）
※国加速化奨励金を活用

【事業の実績】
令和2年度 20,502千円
令和3年度 4,457千円
令和4年度 4,560千円（見込）

農015	項目名	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金	新規事業
------	-----	-----------------------	------

予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	229
-------	-----------	-----	-----

所属名	農林水産部 農政企画課
-----	----------------

年度	R5
----	----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	畜産業費

事業の概要	
【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304	
【11次総の施策体系】2104	
【事業の経過及び背景】 「鳥取地どりピヨ」は、シャモ（軍鶏）をベースに研究、作出された県内唯一の「地どり」で、市場関係者から高い評価を得ている。現在は平成30年12月に設立された（株）鹿野地鶏により生産・食鳥処理・販売が行われている。	
【事業の目的及び効果】 新たな体制で地どり事業を再開するにあたって必要となる食鳥処理に係る人材育成などを支援し、鳥取地どりブランドのより一層のブランド化を図る。	
【事業の内容】 ・生産に必要な施設整備に係る経費の一部を支援 3,917千円 ・地鶏の販売促進に係る経費の一部を支援 359千円 ・食鳥処理研修、講習会の受講、外部講師招聘経費の一部を支援 1,664千円	
【事業の実績】 令和2年度 2,555千円 令和3年度 2,784千円 令和4年度 2,023千円（見込）	

前年度当初予算額	2,457
----------	-------

本年度要求額	5,940
--------	-------

総務部長段階査定額	5,940	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,940	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	5,940
計	5,940

備考欄

農016	項目名	農地集積等対策事業費	新規事業
------	-----	------------	------

予算書項目	地域農政推進対策事業費	ページ	231
-------	-------------	-----	-----

所属名	農林水産部 農政企画課
-----	----------------

年度	R5
----	----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業構造改善事業費

事業の概要	
【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305	
【11次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）	
【事業の経過及び背景】 本市では、農業経営基盤強化促進法に基づき、市内の各集落ごとの将来の農業の在り方を示した「人・農地プラン」の作成や、「農地中間管理事業」による農地の集積・集約化を進めてきた。	
【事業の目的及び効果】 地域での合意形成を図りながら農地中間管理機構への農地の貸付、担い手への転貸を行うことで、地域の担い手への農地の利用調整を推進し、農業経営の効率化や地域農業の維持・発展を図る。	
【事業の内容】 ①人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業費 地域連携推進員活動費 2,638千円（会計年度任用職員1名分報酬） 市町村活動費 119千円（事務費） ②農地集積・集約化対策事業費 機構集積協力金 2,200千円（集積に協力する面積22ha） ③農地中間管理事業推進費 推進員活動費、消耗品費、役務費 2,355千円 （会計年度任用職員1名分報酬、事務費） ④農地流動化推進事業費補助金 補助金 5,000千円（一定期間の利用権設定を行った認定農業者へ補助）	
【事業の実績】 令和2年度 10,394千円 令和3年度 8,788千円 令和4年度 10,325千円（見込）	

前年度当初予算額	17,493
----------	--------

本年度要求額	12,312
--------	--------

総務部長段階査定額	12,312	その他財源の内訳	
市長段階査定額	12,312	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	2,355
		その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	3,315
地方債	0
その他	2,355
一般財源	6,642
計	12,312

備考欄

※その他財源の諸収入は、中間管理事業事務受託収入

農017	項目名	集落営農体制強化支援事業補助金	新規事業
------	-----	-----------------	------

予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	231
-------	--------------	-----	-----

所属名	農林水産部 農政企画課
-----	----------------

年度	R5
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業構造改善事業費

事業の概要

【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305

【1次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
小規模農家が共同で営農を行う集落営農は、地域の水田農業を守る担い手として重要な組織体であり、組織化初期の経営安定を図るため平成20年度より本事業が創設された。

【事業の目的及び効果】
継続的な地域の水田農業を維持するため、集落営農組織に対し機械施設の整備等を支援する。

【事業の内容】
集落営農組織の作成した集落営農ビジョン実現のために必要な事業に対し助成する。
機械施設整備等支援 補助率1/2（県1/3、市1/6）
2組織 コンバイン

【事業の実績】
令和2年度 3組織 9,121千円
令和3年度 1組織 1,065千円
令和4年度 2組織 2,142千円（見込）

(単位:千円)

前年度当初予算額	1,881
----------	-------

本年度要求額	6,813
--------	-------

総務部長段階査定額	6,813	その他財源の内訳	
市長段階査定額	6,813	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	4,541
地方債	0
その他	0
一般財源	2,272
計	6,813

備考欄	
-----	--

農018	項目名	大規模飼料作経営基盤強化対策事業費	新規事業
------	-----	-------------------	------

予算書項目	湖山池汽水湖化に対応した大規模飼料作経営安定化推進事業費	ページ	231
-------	------------------------------	-----	-----

所属名	農林水産部 農政企画課
-----	----------------

年度	R5
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業構造改善事業費

事業の概要

【問合せ先】農政係 0857-30-8302

【1次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
湖山池の水質浄化のための塩分導入開始（汽水化）に伴い、将来的に湖山池周辺での農業・農地を維持していく取組として、平成24年度より湖山池周辺の牧草営農組合による飼料作物（牧草）の栽培が行われている。
また、鳥取県が湖山池浚渫事業に係る土砂の吹上地として使用していた福井地区の農地について、事業終了に伴い令和5年度より牧草の作付を開始することとなった。

【事業の目的及び効果】
牧草の収穫量・品質維持のために5年に1度の周期で行う農地の更新（除草・耕耘・施肥・播種）及び新規造成の取組を支援することで、湖山池周辺における営農の継続、耕作放棄地の発生防止、自然環境の保全等に寄与する。

【事業の内容】
①農地更新作業（除草・耕耘・施肥・播種）に要する経費支援
②福井地区復旧農地の牧草地造成に要する経費支援

事業主体：各地区牧草営農組合（瀬・西桂見・三津・福井）
総事業費：7,954千円
対象面積：瀬：8.4ha、西桂見：2.9ha、三津：2.7ha、福井：2.5ha

【事業の実績】
令和4年度 瀬地区ほ場15ha 7,112千円（見込）

(単位:千円)

前年度当初予算額	7,112
----------	-------

本年度要求額	7,954
--------	-------

総務部長段階査定額	7,954	その他財源の内訳	
市長段階査定額	7,954	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	3,977
地方債	0
その他	0
一般財源	3,977
計	7,954

備考欄	
-----	--

農019	項目名	野生鳥獣被害防止事業費		新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費		ページ	233
年度	R5		所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303 【1次総の施策体系】2104（実施計画関連事業） 【事業の経過及び背景】 本市では、野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にあり、有害鳥獣の駆除を委託している狩猟免許所持者も高齢化により減少している。 【事業の目的及び効果】 イノシシ等の被害防止対策に必要な補助金を交付することにより、農林業者が安心して生産活動を行うことができ、もって本市農林業の振興を図る。 【事業の内容】 ○個体数削減 捕獲頭数 イノシシ2,800頭、シカ2,600頭他 ○狩猟者育成 免許取得人数 8人（新規）、5人（更新） ①有害鳥獣駆除実施事業費 負担割合：県1/3、市2/3 銃器、わな等による有害鳥獣（イノシシ、カラス等）駆除 ②侵入防止施設整備事業費 負担割合：県1/3、市1/3（地元1/3） ※非農家 市1/2（地元1/2） イノシシ侵入防止柵（ワイヤーメッシュ・電気柵） ③イノシシ等捕獲奨励金 負担割合：国定額、残り県1/2、市1/2 ④イノシシ・シカ捕獲奨励金（緊急捕獲）（5,519頭 国定額 市補填1,239千円） ⑤免許取得促進事業 負担割合：県1/3、市2/3 ⑥鳥取市鳥獣害対策協議会支援事業 負担割合：市1/3（国1/2、地元1/6） 侵入防止柵整備（捕獲器63基ほか） ⑦イノシシ解体処理施設維持管理費 負担割合：市10/10 需用費（燃料費、光熱水費、消耗品費） ⑧新規銃砲取得者の育成 市10/10、捕獲技術の向上対策事業 県10/10 ⑨捕獲確認を適切且つ迅速に対応するため各地域への会計年度任用職員の配置 【事業の実績】 令和2年度 79,182千円 令和3年度 95,554千円 令和4年度 86,748千円（見込）			
（単位：千円）				
前年度当初予算額	102,708			
本年度要求額	138,906			
総務部長段階査定額	105,703		その他財源の内訳	
市長段階査定額	105,703		分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 随収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	63,764		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	41,939		
	計	105,703		
備考欄				

農020	項目名	減容化施設管理運営費		新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費		ページ	233
年度	R5		所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303 【1次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある中、捕獲による個体数削減に取り組んでいる。捕獲した個体は、埋設・焼却・食用の方法により処理してきたが、焼却に代わって減容化処理を行うこととし、令和3年度に減容化処理施設を旧国府町クリーンセンター内に整備し、令和4年4月1日から稼働している。 【事業の目的及び効果】 焼却施設に代わる新たな減容化施設を運営することで、捕獲個体の処理に係る労力を軽減させ、不法投棄を防止し、環境面への配慮を図るとともに、捕獲効率の向上を図る。 【事業の内容】 減容化施設の管理運営経費（人件費含む） 19,065千円 ※処理設備1日当りの処理能力（2基稼働） 240kg（イノシシ、シカ約10頭分） 【事業の実績】 令和4年度 17,396千円（見込） 受入数 イノシシ：590頭、シカ：1,200頭、その他：250頭（見込）			
（単位：千円）				
前年度当初予算額	14,504			
本年度要求額	24,787			
総務部長段階査定額	19,065		その他財源の内訳	
市長段階査定額	19,065		分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 随収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	19,065		
	計	19,065		
備考欄				

農021	項目名	射撃場管理運営費	新規事業
予算書項目	射撃場管理運営費	ページ	233
年度	R5	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 鳥取クレー射撃場は、野生鳥獣対策を担う銃猟者のさらなる養成を目指し平成28年9月に再開したが、銃猟者の減少には歯止めがかからず、野生鳥獣による農作物被害も増加傾向が続いている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 射撃場の適切な管理運営を行うことで、銃猟者の着実な育成・確保を進め、捕獲強化による農作物被害の軽減を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	10,846	・射撃場の管理運営経費(人件費含む) 12,578千円	
本年度要求額	18,789	・鉛弾処理関係調査経費 6,211千円	
総務部長段階査定額	18,789	<施設概要>	
市長段階査定額	18,789	・敷地面積:11,240㎡	
区分	本年度予算額	・トラップ射場、スキート射場:各1面(鉛弾飛散防止ネット設置)	
財源内訳	0	・管理棟:1棟	
国・県支出金	0	【事業の実績】	
地方債	0	令和2年度 延利用者数 803名 103,547千円	
その他	6,532	令和3年度 延利用者数 1,041名 181,371千円	
一般財源	12,257	令和4年度 延利用者数 1,081名 11,471千円(見込)	
計	18,789	※その他財源の負担金は、東部4町負担金	
備考欄		※その他財源の使用料は、クレー射撃場使用料、自動販売機設置による行政財産使用料	
		※その他財源の手数料は、教習射撃受講料	

農022	項目名	市行造林維持管理費	新規事業
予算書項目	市行造林維持管理費	ページ	233
年度	R5	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 市行造林、市有林の適正な森林管理が必要のため。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林経営計画(令和5年度~令和9年度)に基づき、市行造林、市有林の保育、間伐材生産等の適正な森林整備を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	26,904	①森林国営保険料(359.40ha) 2,640千円	
本年度要求額	34,097	②委託料	
総務部長段階査定額	34,097	・佐治市行造林(間伐搬出 10.78ha) 19,076千円	
市長段階査定額	34,097	・円護寺市有林(間伐搬出 6.57ha) 10,437千円	
区分	本年度予算額	・市行造林森林状況等調査 一式 557千円	
財源内訳	16,008	・市有林等森林資源情報調査 一式 1,021千円	
国・県支出金	0	※その他の事業費は事務費等	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	14,984	令和2年度 3,256千円	
一般財源	3,105	令和3年度 3,857千円	
計	34,097	令和4年度 28,058千円(見込)	
備考欄		※その他財源の財産収入は、立木売却収入	
		※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金及び市行造林基金の繰入金	

農023	項目名	林業労働者福祉向上推進事業負担金		新規事業	
予算書項目	林業労働者福祉向上推進事業費		ページ	233	
年度	R5		所属名	農林水産部 林務水産課	
会計名	一般会計		事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-30-8311 【11次総の施策体系】2104（実施計画関連事業） 【事業の経過及び背景】 林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、林業の発展に資することを目的として林業労働者に対する共済事業を行うため、鳥取県林業担い手育成財団が設立され、鳥取県、市町村が助成をしながら林業労働者の共済事業を行っているもの。 【事業の目的及び効果】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため（公財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者福祉向上推進事業（林業労働者の共済年金掛金等の一部助成）に要する経費を助成する。 【事業の内容】 林業労働者を雇用する事業者が負担する共済年金等の一部を支援 事業主体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団 事業費：1,712千円 【事業の実績】 令和2年度 1,544千円 令和3年度 1,554千円 令和4年度 1,578千円（見込）		
款	農林水産業費				
項	林産業費				
目	林業総務費				
(単位:千円)					
前年度当初予算額	1,578				
本年度要求額	1,712				
総務部長段階査定額	1,712	その他財源の内訳			
市長段階査定額	1,712	分担金			0
		負担金			0
		使用料	0		
		手数料	0		
		財産収入	0		
		寄付金	0		
		繰入金	0		
		贈収入	0		
		その他	0		
区分	本年度予算額				
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	1,712			
	計	1,712			
備考欄					

農024	項目名	林業労働者雇用条件改善事業費		新規事業	
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費		ページ	233	
年度	R5		所属名	農林水産部 林務水産課	
会計名	一般会計		事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-30-8311 【11次総の施策体系】2104（実施計画関連事業） 【事業の経過及び背景】 林業労働者の高齢化により、担い手不足が進んでいる。 【事業の目的及び効果】 林業事業者が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。 【事業の内容】 概要：健康保険・農林年金に係る負担補助 事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、株式会社樹林業ほか 補助対象：28人 事業費：12,348千円 負担割合：県1/4、市1/4、事業主体1/2 【事業の実績】 令和2年度 24人 5,053千円 令和3年度 25人 5,051千円 令和4年度 29人 5,609千円（見込）		
款	農林水産業費				
項	林産業費				
目	林業総務費				
(単位:千円)					
前年度当初予算額	5,609				
本年度要求額	6,614				
総務部長段階査定額	6,174	その他財源の内訳			
市長段階査定額	6,174	分担金			0
		負担金			0
		使用料	0		
		手数料	0		
		財産収入	0		
		寄付金	0		
		繰入金	0		
		贈収入	0		
		その他	0		
区分	本年度予算額				
財源内訳	国・県支出金	3,087			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	3,087			
	計	6,174			
備考欄					

農025	項目名	林業新規就業者支援対策事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	233
年度	R5	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 森林資源が充実し、間伐や主伐・再造林等の事業量の増大が見込まれる中、若者を中心とする新規就業者の確保及び育成が喫緊の課題となっている。新規就業者を一人前の現場技能者として育成するには少なくとも5年程度必要とされているが、育成に係る費用は事業体にとっては負担が大きい。研修等に要する経費を新規就業者に求めることも多く、新規採用が抑制される要因の1つとなっている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 意欲ある林業就業者が負担なく研修を行うため、国が実施する「緑の雇用」事業による研修に必要な道具や装備の購入にかかる費用の助成に嵩上げをすることで、林業事業体が採用する新規就業者を増加させ、本市の林業振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 国の「緑の雇用」事業によるフォレストワーカー研修1年目の研修生に対し、道具や装備の購入にかかる費用を嵩上げ助成する。(森林環境譲与税活用事業) 補助率:2/3 補助対象:研修準備費(道具購入費)、資材費(装備購入費)		
前年度当初予算額	508	【事業の実績】 令和2年度 2名分 122千円 令和3年度 3名分 222千円 令和4年度 3名分 234千円(見込)	
本年度要求額	534	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	534	その他財源の内訳	
市長段階査定額	534	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	534	寄付金	0
一般財源	0	繰入金	534
計	534	随収入	0
		その他	0
備考欄			

農026	項目名	森林経営管理事業費	新規事業
予算書項目	森林経営管理事業費	ページ	233
年度	R5	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 戦後造成された人工林が主伐期を迎えようとしている一方、所有者の高齢化、零細化により経営・管理が行きとどいていない森林が増加している。このため、新たな経営管理システムを構築すべく、「森林経営管理法」が平成30年5月に制定された。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林所有者が自ら経営・管理を実行できない場合、市町村が経営管理を受託し、意欲と能力のある林業経営者への再委託もしくは市町村が自ら管理することにより、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を図る。なお、本事業は森林環境譲与税を財源としている。		
(単位:千円)	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認、経営管理権集積計画(案)の作成を実施。 ①森林境界明確化 1地区(用瀬町) ②意向調査 2地区(用瀬町、佐治町) ③集積計画 2地区(佐治町、青谷町)		
前年度当初予算額	35,961	【事業の実績】 令和2年度 8,486千円 令和3年度 4,474千円 令和4年度 50,352千円(見込)	
本年度要求額	79,025	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	79,025	その他財源の内訳	
市長段階査定額	79,025	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	79,025	寄付金	0
一般財源	0	繰入金	79,025
計	79,025	随収入	0
		その他	0
備考欄			

農027	項目名	林道改良事業費	新規事業
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	235
年度	R5	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 効率的な森林施業の促進を図るため、森林所有者から林業機械の利用に対応することができる林道の改良が要望されている。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 林業機械での施業に対応するため林道の改良・舗装を行い、安全な交通を確保し、効率的な森林施業の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ○林道橋梁修繕調査設計 7,500千円 (若桜江府線柱橋ほか1か所) ○林道高路岩坪線改良工事 16,000千円		
前年度当初予算額	6,857	【事業の実績】 令和2年度 24,727千円 令和3年度 36,890千円 令和4年度 31,461千円(見込)	
本年度要求額	23,860		
総務部長段階査定額	23,760	【事業の内容】	
市長段階査定額	23,760	○林道橋梁修繕調査設計 7,500千円 (若桜江府線柱橋ほか1か所) ○林道高路岩坪線改良工事 16,000千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和2年度 24,727千円 令和3年度 36,890千円 令和4年度 31,461千円(見込)	
国・県支出金	12,550		
地方債	11,100		
その他	0		
一般財源	110		
計	23,760		
備考欄			

農028	項目名	造林事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	235
年度	R5	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 木材価格の低迷、林家の高齢化などにより、適切な森林施業が遅れており、林地の荒廃が進んでいる。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、もって本市林業の振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	29,980	○事業費 間伐・竹林林種転換・クヌギ造林補助 24,189千円 シカ進入防護柵設置 (5,400m) 1,210千円 シカ防護柵の点検 (42.676km) 2,561千円	
本年度要求額	27,960	○補助率 間伐:(普通林)10%、(保安林)5%、※地元負担 15% 竹林樹種転換:5% ※地元負担 15% センダン・カラマツ・コウヨウザン造林:10% ※地元負担 5% クヌギ造林:10% シカ進入防護柵設置:10% シカ防護柵の点検・維持管理経費:定額15,000円/km	
総務部長段階査定額	27,960	【事業の実績】	
市長段階査定額	27,960	令和2年度 間伐・竹林林種転換 354.94ha 23,847千円 令和3年度 間伐・竹林林種転換 241.25ha 12,163千円 シカ侵入防護柵設置 7,020m 1,536千円 令和4年度 間伐・造林 627ha 21,719千円(見込) シカ侵入防護柵設置 28,988m 11,285千円(見込) シカ侵入防護柵点検 38.955km 1,068千円(見込)	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
財源内訳			
国・県支出金	1,707		
地方債	14,300		
その他	2,064		
一般財源	9,889		
計	27,960		
備考欄			

農029	項目名	間伐搬出支援事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	235
年度	R5	所属名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
款	農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104	
項	林産業費	【事業の経過及び背景】 県産材の有効利用を目的とし、鳥取県の補助金（1㎡あたり2,400円）に嵩上げすることで、森林施業の促進を図る。	
目	林業振興費	【事業の目的及び効果】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。	
(単位:千円)		【事業の内容】 間伐材搬出支援（1㎡あたり500円を補助） 搬出量：39,270㎡×500円=19,635千円	
前年度当初予算額	22,000	【事業の実績】 令和2年度 19,691千円 令和3年度 17,007千円 令和4年度 19,000千円（見込）	
本年度要求額	19,635		
総務部長段階査定額	19,635	その他財源の内訳	
市長段階査定額	19,635	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	19,635		
計	19,635		
備考欄			

農030	項目名	豊かな森づくり推進事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	235
年度	R5	所属名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 林務係 0857-30-8311	
款	農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104	
項	林産業費	【事業の経過及び背景】 拡大する竹対策として、鳥取県豊かな森づくり協働税及び森林環境譲与税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。	
目	林業振興費	【事業の目的及び効果】 適正な管理ができていない竹林の抜き伐り等に対し補助を行う。	
(単位:千円)		【事業の内容】 負担区分 豊かな森づくり協働税関連事業 補助率 県 80% 市 5% 抜き伐り、搬出 7.15ha 28,465千円（内訳：県26,799千円 市1,666千円）	
前年度当初予算額	19,000	【事業の実績】 令和2年度 3.59ha（抜き伐り） 11,390千円 令和3年度 5.66ha（抜き伐り） 18,360千円 令和4年度 4.80ha（抜き伐り、搬出） 17,743千円（見込）	
本年度要求額	28,465	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	28,465	その他財源の内訳	
市長段階査定額	28,465	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	1,666
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	26,799		
地方債	0		
その他	1,666		
一般財源	0		
計	28,465		
備考欄			

農031	項目名	単県斜面崩壊復旧事業費		新規事業
予算書項目	治山事業費	ページ	235	所属名
年度	R5	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国庫補助事業（治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業）及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において復旧事業を行い公共施設、人家等を保全するもの。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 大雨等により崩落した山腹を復旧し、家屋等への被害を防止する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 鳥取市長谷地区 4,000千円 鳥取市洞谷地区 8,300千円 青谷町桑原地区 8,000千円 鳥取市金沢地区 5,500千円			
前年度当初予算額 34,700	【事業の実績】 令和2年度 16,789千円 令和3年度 9,032千円 令和4年度 34,700千円（見込）			
本年度要求額 25,800	※その他財源の負担金は、地元負担金			
総務部長段階査定額 25,800	その他財源の内訳			
市長段階査定額 25,800	分担金 0			
区分	本年度予算額	負担金 2,580		
財源内訳	国・県支出金 11,610	使用料 0		
	地方債 11,500	手数料 0		
	その他 2,580	財産収入 0		
	一般財源 110	寄付金 0		
計	25,800	繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		
備考欄				

農032	項目名	森づくり作業道整備事業費		新規事業
予算書項目	森づくり作業道整備事業費	ページ	235	所属名
年度	R5	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国・県の作業道補助事業とあわせて、作業道等整備事業に補助を行う。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道等の整備を促進する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ①造林作業道整備の補助金 作業道整備（普通林） 28,600m 作業道整備（保安林） 26,300m 合計 54,900m ②林業専用道整備の補助金 林業専用道整備 1,500m			
前年度当初予算額 19,459	【事業の実績】 令和2年度 16,776千円 39路線 53,224m、林業専用道1路線 600m 令和3年度 11,415千円 67路線 45,763m、林業専用道1路線 600m 令和4年度 15,296千円（見込）			
本年度要求額 18,216	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金			
総務部長段階査定額 18,216	その他財源の内訳			
市長段階査定額 18,216	分担金 0			
区分	本年度予算額	負担金 0		
財源内訳	国・県支出金 0	使用料 0		
	地方債 0	手数料 0		
	その他 3,000	財産収入 0		
	一般財源 15,216	寄付金 0		
計	18,216	繰入金 3,000		
		贈収入 0		
		その他 0		
備考欄				

農033	項目名	県営林道整備事業費		新規事業
予算書項目	県営林道整備事業費	ページ	235	所属名
年度	R5	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 県営事業として林道桑原河内線、籠山線の築造・舗装・法面工事を実施中。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 県営事業で施行する林道開設事業の実施に伴う事業費の負担をする。			
(単位:千円)	【事業の内容】 工事負担金 桑原河内線 7,820千円(県事業費 104,255千円) 澄水工区 開設工 籠山線 3,450千円(県事業費 50,000千円) 山口工区 開設工			
前年度当初予算額	4,140	【事業の実績】 令和2年度 3,505千円 令和3年度 3,584千円 令和4年度 6,015千円(見込)		
本年度要求額	11,270			
総務部長段階査定額	11,270	【事業の内訳】		
市長段階査定額	11,270	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 随収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳	0			
国・県支出金	0			
地方債	11,200			
その他	0			
一般財源	70			
計	11,270			
備考欄				

農034	項目名	林産物振興対策事業費		新規事業
予算書項目	林産物振興対策事業費	ページ	235	所属名
年度	R5	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 本市の特産品である椎茸の生産量は年々減少傾向にあるため、椎茸の生産、出荷、販売を促進する必要がある。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の特産品である椎茸の生産、出荷及び販売を促進することで、消費拡大及び生産者の意欲向上を図り、椎茸の生産振興を目的とする。また、新規参入者に対し支援を行うことで、椎茸産地としての持続的な発展を目指す。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ①椎茸の種菌の購入を行う際の当該購入に要する経費を助成 補助率 新規生産者:1/4以内、既存生産者:1/5以内 事業費 500千円 ②椎茸のイベント開催やパンフレット作成等による販売促進に要する経費を助成 補助率 1/3以内 事業費 100千円			
前年度当初予算額	600	【事業の実績】 令和2年度 311千円 令和3年度 316千円 令和4年度 600千円(見込)		
本年度要求額	600			
総務部長段階査定額	600	【事業の内訳】		
市長段階査定額	600	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 随収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳	0			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	600			
計	600			
備考欄				

農035	項目名	林業・木材産業強化総合対策事業費		新規事業
予算書項目	林業・木材産業強化総合対策事業費		ページ	235
年度	R5		所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名			事業の概要	
一般会計			【問合せ先】林務係 0857-30-8311	
款	農林水産業費		【11次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）	
項	林産業費		【事業の経過及び背景】	
目	林業振興費		戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を図ることが重要である。そのため、意欲と能力のある林業経営体を育成し、木材生産を通じた持続的な林業経営を確立するための高性能林業機械の導入支援等を行う必要がある。	
(単位:千円)				
前年度当初予算額	37,484		【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	34,867		意欲と能力のある林業経営体に対し、原木を低コストで安定的に供給するための高性能林業機械の導入に対し支援を行う。	
総務部長段階査定額	29,200		【事業の内容】	
市長段階査定額	29,200		・高性能林業機械の整備 ロングリーチグラブ 1台 28,000千円×1/2 =14,000千円（補助率1/2） ・林業機械リース支援 ロングリーチ伐倒機 1台 38,000千円×4/10=15,200千円（補助率4/10）	
区分		本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	国・県支出金	29,200	令和2年度 9,440千円 令和3年度 156,408千円 令和4年度 37,108千円（見込）	
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	0		
	計	29,200		
備考欄				

農036	項目名	水産資源維持増殖事業費		新規事業
予算書項目	水産資源維持増殖事業費		ページ	237
年度	R5		所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名			事業の概要	
一般会計			【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312	
款	農林水産業費		【11次総の施策体系】2104	
項	水産業費		【事業の経過及び背景】	
目	水産業振興費		千代川・湖山池は市民にとって身近な水辺空間であるとともに、内水面漁業の漁場であり、それらの機能維持を図るため、内水面漁業協同組合が行う放流に要する経費を助成してきた。	
(単位:千円)				
前年度当初予算額	11,800		【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	12,270		水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川・湖山池流域の地域振興やレクリエーション機会の増大に寄与する。	
総務部長段階査定額	12,270		【事業の内容】	
市長段階査定額	12,270		鮎などの内水面水産資源の維持増殖等を図る放流事業に対し助成する。 実施主体：千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市 事業費：千代川流域 淡水魚放流事業等 11,840千円 ふれあい放流事業 30千円 湖山池流域 湖山池漁業振興対策事業 400千円	
区分		本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	国・県支出金	0	[千代川流域] [湖山池流域]	
	地方債	0	令和2年度 4.11t シジミ産卵場整備 一式 11,400千円	
	その他	5,735	令和3年度 3.73t シジミ産卵場整備 一式 11,550千円	
	一般財源	6,535	令和4年度 3.73t シジミ産卵場整備 一式 11,610千円（見込）	
	計	12,270	※その他財源の諸収入は、水道局負担金及び鳥取県魚の豊かな川づくり基金助成金	
備考欄				

農037	項目名	鳥取かにフェスタ開催事業費補助金		新規事業
予算書項目	鳥取かにフェスタ開催事業費	ページ	237	所属名
年度	R5	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）			
項 水産業費	【事業の経過及び背景】			
目 水産業振興費	市民はもとより県内外の方々に、賀露西浜地区の水産業を柱とする地域開発及び水産業の発展等をアピールするため、平成12年より「鳥取かにフェスタ」が開催されている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	600	松葉がにの産地としての鳥取市を情報発信し、併せて地元水産業の振興を図る。		
本年度要求額	600	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	600	・「鳥取かにフェスタ」開催経費への助成。		
市長段階査定額	600	主催団体：鳥取かにフェスタ実行委員会		
区分	本年度予算額	実施予定：令和5年11月		
財源内訳		実施場所：鳥取港西浜地区 マリンピア賀露		
国・県支出金	0	【事業の実績】		
地方債	0	令和2年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため		
その他	0	令和3年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため		
一般財源	600	令和4年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため		
計	600			
備考欄				

農038	項目名	漁業経営開始円滑化事業費		新規事業
予算書項目	漁業経営開始円滑化事業費	ページ	237	所属名
年度	R5	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）			
項 水産業費	【事業の経過及び背景】			
目 水産業振興費	漁業後継者の不足の一因として、漁業の専業経営を目指す新規就業者が新たに着業する際、漁船等の初期投資に多大な費用を要することがあげられる。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	30,140	漁業就業時に必要な漁船等の初期投資に対して助成することにより漁業の新規就業者の円滑な確保を実現する。		
本年度要求額	26,667	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	26,667	漁協が漁船、漁具等を購入し、新規就業者にリースする。		
市長段階査定額	26,667	事業実施主体：鳥取県漁業協同組合		
区分	本年度予算額	補助率：2/3（県1/2、市1/6）		
財源内訳		対象者：2名（酒津1名、浜村1名）		
国・県支出金	20,000	事業費：40,000千円		
地方債	0	補助金：26,667千円（40,000千円×2/3）		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	6,667	令和2年度 対象者1名 漁船1隻ほか機器等 9,384千円		
計	26,667	令和3年度 対象者1名 漁船1隻ほか機器等 17,413千円		
備考欄	令和4年度 対象者2名 漁船1隻ほか機器等 22,000千円（見込）			

農039	項目名	沖合底びき網漁業生産体制存続事業費		新規事業
予算書項目	沖合底びき網漁業生産体制存続事業費	ページ	237	所属名
年度	R5	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104			
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 沖合底びき網漁業は、本市特産品「松葉がに」「ハタハタ」等を漁獲し、県東部地域の経済や観光において重要な漁業である。しかし、漁船購入等の初期投資は極めて高額であり、また、維持管理費も高額であることに加え、乗組員等の不足、魚価の低迷等の理由で経営体は減少傾向であり、このままでは沖合底びき網漁業の存続が危惧されている。			
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲ある漁業者に対して漁船リース事業や機器等整備事業を推進する事により、本市の漁獲高の大半を占める沖合底びき網漁業の衰退を防止し、本市の漁業振興を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 漁船のリース料の付加料部分(固定資産税、登録免許税、支払利息、保証料、漁協事務費、漁船保険料)を国、県、市で補助する。 実施主体:鳥取県漁業協同組合 事業費:5,340千円			
前年度当初予算額	5,340	【事業の実績】 令和2年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和3年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和4年度 漁船リース1隻 5,340千円(見込)		
本年度要求額	5,340			
総務部長段階査定額	5,340	【事業の内容】 漁船のリース料の付加料部分(固定資産税、登録免許税、支払利息、保証料、漁協事務費、漁船保険料)を国、県、市で補助する。 実施主体:鳥取県漁業協同組合 事業費:5,340千円		
市長段階査定額	5,340	【事業の実績】 令和2年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和3年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和4年度 漁船リース1隻 5,340千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 漁船のリース料の付加料部分(固定資産税、登録免許税、支払利息、保証料、漁協事務費、漁船保険料)を国、県、市で補助する。 実施主体:鳥取県漁業協同組合 事業費:5,340千円		
財源内訳		【事業の実績】 令和2年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和3年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和4年度 漁船リース1隻 5,340千円(見込)		
国・県支出金	2,848	【事業の内容】 漁船のリース料の付加料部分(固定資産税、登録免許税、支払利息、保証料、漁協事務費、漁船保険料)を国、県、市で補助する。 実施主体:鳥取県漁業協同組合 事業費:5,340千円		
地方債	0	【事業の実績】 令和2年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和3年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和4年度 漁船リース1隻 5,340千円(見込)		
その他	0	【事業の内容】 漁船のリース料の付加料部分(固定資産税、登録免許税、支払利息、保証料、漁協事務費、漁船保険料)を国、県、市で補助する。 実施主体:鳥取県漁業協同組合 事業費:5,340千円		
一般財源	2,492	【事業の内容】 漁船のリース料の付加料部分(固定資産税、登録免許税、支払利息、保証料、漁協事務費、漁船保険料)を国、県、市で補助する。 実施主体:鳥取県漁業協同組合 事業費:5,340千円		
計	5,340	【事業の実績】 令和2年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和3年度 漁船リース1隻 5,339千円 令和4年度 漁船リース1隻 5,340千円(見込)		
備考欄				

農040	項目名	漁港施設維持管理事業費		新規事業
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	237	所属名
年度	R5	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104(実施計画関連事業)			
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港(福部町)、酒津漁港・船磯漁港(気高町)、夏泊漁港・長和瀬漁港(青谷町)の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。			
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 漁港施設維持管理(光熱水費、維持修繕費等)一式 ・福部地域 10,934千円 ・気高地域 22,592千円 ・青谷地域 18,727千円			
前年度当初予算額	50,783	【事業の実績】 令和2年度 45,642千円 令和3年度 57,241千円 令和4年度 50,783千円(見込)		
本年度要求額	52,295	※その他財源の使用料は、漁港施設占用料		
総務部長段階査定額	52,253	【事業の内容】 漁港施設維持管理(光熱水費、維持修繕費等)一式 ・福部地域 10,934千円 ・気高地域 22,592千円 ・青谷地域 18,727千円		
市長段階査定額	52,253	【事業の実績】 令和2年度 45,642千円 令和3年度 57,241千円 令和4年度 50,783千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 漁港施設維持管理(光熱水費、維持修繕費等)一式 ・福部地域 10,934千円 ・気高地域 22,592千円 ・青谷地域 18,727千円		
財源内訳		【事業の実績】 令和2年度 45,642千円 令和3年度 57,241千円 令和4年度 50,783千円(見込)		
国・県支出金	4,391	【事業の内容】 漁港施設維持管理(光熱水費、維持修繕費等)一式 ・福部地域 10,934千円 ・気高地域 22,592千円 ・青谷地域 18,727千円		
地方債	0	【事業の実績】 令和2年度 45,642千円 令和3年度 57,241千円 令和4年度 50,783千円(見込)		
その他	3,412	【事業の内容】 漁港施設維持管理(光熱水費、維持修繕費等)一式 ・福部地域 10,934千円 ・気高地域 22,592千円 ・青谷地域 18,727千円		
一般財源	44,450	【事業の実績】 令和2年度 45,642千円 令和3年度 57,241千円 令和4年度 50,783千円(見込)		
計	52,253	【事業の内容】 漁港施設維持管理(光熱水費、維持修繕費等)一式 ・福部地域 10,934千円 ・気高地域 22,592千円 ・青谷地域 18,727千円		
備考欄				

農041	項目名	栽培漁業推進支援事業費	新規事業
予算書項目	栽培漁業推進支援事業費	ページ	237
年度	R5	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市は県と連携しながら栽培漁業を推進し、水産物の安定供給・地域振興に資するため、漁業者が行う種苗放流事業に助成してきた。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、稚貝放流等の経費を助成し漁獲量の増加を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 種苗放流等／アワビ23,200個、サザエ54,000個、キジハタ10,714尾 事業費 1,122千円（内、市助成額：500千円）		
前年度当初予算額	4,109	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
本年度要求額	1,122	・イワガキ岩盤清掃 令和3年度 646千円 1地区 令和4年度 0千円（見込）	
総務部長段階査定額	1,122	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
市長段階査定額	1,122	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
財源内訳	計 1,122	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
国・県支出金	622	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
地方債	0	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
その他	0	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
一般財源	500	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
計	1,122	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和2年度 1,293千円 令和3年度 1,093千円 令和4年度 1,109千円（見込）	
備考欄			

農042	項目名	漁港施設機能保全事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	237
年度	R5	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長和瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の第1種漁港は、近年、老朽化に伴い更新等が必要な漁港施設が増加している。施設の維持管理を体系的に捉え、計画的に更新することにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 漁港施設機能保全計画に定めた対策工事を実施する。 また、酒津漁港において漁港施設の老朽化の状況を調べる機能診断等を実施し、その結果に基づき当該施設の機能を保全するために必要な対策方法を定めた機能保全計画の見直しを行う。 酒津・船磯漁港機能保全工事（水域施設） 43,512千円 夏泊漁港機能保全工事（水域・基本施設） 9,790千円 酒津漁港機能保全計画見直し業務 32,000千円		
前年度当初予算額	76,316	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
本年度要求額	101,100	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
総務部長段階査定額	85,700	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
市長段階査定額	85,700	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
財源内訳	計 85,700	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
国・県支出金	46,800	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
地方債	38,900	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
その他	0	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
一般財源	0	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
計	85,700	【事業の実績】 令和2年度 122,269千円（現年 24,257千円 繰越 98,012千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、夏泊漁港機能増進工事、 岩戸ほか漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 令和3年度 80,794千円（現年 37,117千円 繰越 43,677千円） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 166,253千円（現年 76,316千円 繰越 89,937千円）（見込） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事	
備考欄			

農043	項目名	港整備推進事業費	新規事業	○
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	237	
年度	R5	所属名		
		農林水産部 林務水産課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款	農林水産業費	【1次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）		
項	水産業費	【事業の経過及び背景】 本市の第1種漁港は、近年、漁港施設の老朽化や航路泊地の埋塞による出漁機会の減少により、水産物の安定的な生産・流通に支障が生じ、地元市場や飲食、道の駅等への影響が懸念されている。		
目	水産業振興費	【事業の目的及び効果】 本市漁港及び近隣港湾・漁港（鳥取県・岩美町）を一体的に整備することにより、水産物の安定的な生産・流通及び利用者の利便性向上を図る。		
(単位:千円)		【事業の内容】 地方創生港整備推進交付金地域再生計画に定めた対策工事を実施する。 酒津漁港照明施設改修工事 10基 5,900千円		
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	5,920			
総務部長段階査定額	5,920	その他財源の内訳		
市長段階査定額	5,920	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	2,950		
	地方債	2,600		
	その他	0		
	一般財源	370		
	計	5,920		
備考欄				

農044	項目名	漁業研修事業費	新規事業	
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	237	
年度	R5	所属名		
		農林水産部 林務水産課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款	農林水産業費	【1次総の施策体系】2104（実施計画関連事業）		
項	水産業費	【事業の経過及び背景】 現在、漁業就労者は減少傾向にあり、また高齢化も進行していることから将来の漁業者の不足が懸念されている。また、新規に漁業への就業を希望する者はほとんど漁業経験がなく新たに漁業に従事するためには漁業技術の研修が必要である。		
目	水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者に対し、漁業技術等の研修を実施することにより、新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。		
(単位:千円)		【事業の内容】 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。 事業実施主体：漁業経営体、漁協等 事業対象漁業種：沿岸漁業、沖合底びき網漁業 雇用予定者：5名（雇用型2名、独立型3名／新規1名、継続4名） 事業費：13,913千円（県 12,196千円、市 1,717千円）		
前年度当初予算額	14,892			
本年度要求額	16,870			
総務部長段階査定額	13,913	その他財源の内訳		
市長段階査定額	13,913	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	12,196		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,717		
	計	13,913		
備考欄		【事業の実績】 令和2年度 3名 7,852千円 令和3年度 7名 20,149千円 令和4年度 9名 15,405千円（見込）		

農045	項目名	水道事業会計へ繰出		新規事業
予算書項目	水道事業会計へ繰出	ページ	223	所属名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316			
款 衛生費	【1次総の施策体系】2401			
項 他会計繰出	【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づくもの及び簡易水道事業統合後の負担に関する繰出。			
目 水道事業会計へ繰出	【事業の目的及び効果】 一般会計からの繰出により鳥取市水道局の行う事業の下支えを図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 水道事業会計への繰出金 ・繰出金 1,114,752千円			
前年度当初予算額	1,117,512	【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
本年度要求額	1,114,752			
総務部長段階査定額	1,114,752	【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
市長段階査定額	1,114,752	【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
財源内訳		【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
地方債	188,100	【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
その他	0	【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
一般財源	926,652	【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
計	1,114,752	【事業の実績】 令和2年度 939,775千円 令和3年度 944,622千円 令和4年度 1,120,754千円(見込)		
備考欄				

農046	項目名	環境保全型農業直接支払交付金		新規事業
予算書項目	環境保全型農業直接支払交付金	ページ	229	所属名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため事業を実施。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 環境保全に効果の高い営農活動に対して支援することで、地球温暖化防止及び生物多様性保全を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 有機農業または鳥取県が定める「鳥取県特別栽培慣行基準値」から原則5割以上の化学肥料・化学合成農薬を低減して行う営農活動を支援する。 ・環境保全型農業直接支払交付金 対象:12組織(10,555a) 交付額:7,246千円(国50%、県25%、市25%) ・事業推進事務費			
前年度当初予算額	7,560	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
本年度要求額	7,356	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
総務部長段階査定額	7,356	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
市長段階査定額	7,356	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
財源内訳		【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
国・県支出金	5,544	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
地方債	0	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
その他	0	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
一般財源	1,812	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
計	7,356	【事業の実績】 令和2年度 8,346千円 令和3年度 6,590千円 令和4年度 7,356千円(見込)		
備考欄				

農047	項目名	農道舗装補修等事業費	新規事業
予算書項目	農道舗装補修等事業費	ページ	229
年度	R5	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農業用施設全般の適正な補修・修繕等をもって、農業環境の整備を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 老朽化した農業用施設全般の整備及び補修を行う。 ・対象施設:農業用排水施設、農道、暗渠排水ほか ・負担区分:県40%、市40%、地元20%		
前年度当初予算額	32,113	【事業の実績】 令和2年度 32,058千円 令和3年度 31,560千円 令和4年度 42,699千円(見込)	
本年度要求額	48,048	※その他財源の負担金は、地元負担金	
総務部長段階査定額	41,870	その他財源の内訳	
市長段階査定額	41,870	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	7,164
財源内訳	国・県支出金	使用料	0
	地方債	手数料	0
	その他	財産収入	0
	一般財源	寄付金	0
	計	繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
備考欄			

農048	項目名	県営事業負担金	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	231
年度	R5	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104(実施計画関連事業)		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取県主体で土地改良事業が行われている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 ほ場整備を行うことで、営農の効率化、規模拡大を図る。 また、老朽化した農業用施設の更新・改修等の基盤整備事業を実施することで、農業生産の維持、農業経営の安定を図る。 併せて、豪雨や地震等の災害による被害を未然に防止し、地域住民の安全の確保を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・ほ場の整備 1箇所(青谷町山根地区) ・ため池の整備 3箇所(広岡地区、七谷地区、瀬戸谷地区) ・頭首工の撤去 1箇所(大杣地区) ・石綿管の更新 2箇所(湖山砂丘地区・大井手古海地区) ・ポンプ施設の更新 2箇所(福部砂丘地区、古海第2地区)		
前年度当初予算額	66,219	【事業の実績】 令和2年度 23,705千円 令和3年度 18,925千円 令和4年度 56,457千円(見込)	
本年度要求額	90,924	※その他財源の負担金は、地元負担金	
総務部長段階査定額	90,924	その他財源の内訳	
市長段階査定額	90,924	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	621
財源内訳	国・県支出金	使用料	0
	地方債	手数料	0
	その他	財産収入	0
	一般財源	寄付金	0
	計	繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
備考欄			

農049	項目名	排水機場維持管理費		新規事業
予算書項目	排水機場維持管理費	ページ	231	所 属 名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 洪水時の千代川下流域の水位上昇による農地冠水被害を防止するため、ポンプによる排水を行い農地の安全を図る。			
目 農地費	【事業の目的及び効果】 適切な排水施設の管理を行うことで、受益地の効率的な営農活動を支援する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 服部排水機場及び西円通寺排水機場の維持管理。 ・通水時の操作点検及び水位監視 ・洪水時、常駐による運転操作等の委託 ・施設の維持管理費、修繕費			
前年度当初予算額	12,531	【事業の実績】 令和2年度 19,885千円 令和3年度 16,253千円 令和4年度 13,807千円(見込)		
本年度要求額	18,315			
総務部長段階査定額	17,030	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	17,030	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	2,372			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	14,658			
計	17,030			
備考欄				

農050	項目名	多面的機能支払交付金		新規事業
予算書項目	多面的機能支払事業費	ページ	231	所 属 名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104(実施計画関連事業)			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。			
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農業・農村の有する多面的機能の発揮のための地域の共同活動に対して支援を行うことで、多面的機能が適切に発揮されるようにするとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しする。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ・多面的機能支払交付金 補助対象:139組織(292,171a) 交 付 額:215,390千円(国50%、県25%、市25%) ・事業推進事務費(人件費、事務費)			
前年度当初予算額	202,731	【事業の実績】 令和2年度 189,435千円 令和3年度 181,107千円 令和4年度 196,661千円(見込)		
本年度要求額	218,387	※その他財源の負担金は、多面的機能支払交付金町負担金		
総務部長段階査定額	218,387	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	218,387	分担金	0	
		負担金	79	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	164,531			
地方債	0			
その他	79			
一般財源	53,777			
計	218,387			
備考欄				

農051	項目名	農業水利施設保全高度化事業費		新規事業
予算書項目	農業水利施設保全高度化事業費	ページ	231	所属名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められる。			
目 農地費	【事業の目的及び効果】 長寿命化対策に資する農業用排水施設等の整備を行うことで、効率的な農業運営・管理を実現する。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	4,796	・服部排水機場機能保全計画策定業務 事業費:10,000千円(国100%)		
本年度要求額	13,779	・大口堰土地改良区南台樋門新設工事 事業費:3,779千円(国50%、県15%、市15%、地元20%)		
総務部長段階査定額	13,779	【事業の実績】		
市長段階査定額	13,779	令和2年度 16,921千円 令和3年度 9,292千円 令和4年度 3,784千円(見込)		
区分	本年度予算額	※その他財源の負担金は、地元負担金		
財源内訳	国・県支出金	12,456	分担金	
地方債	0	負担金		755
その他	755	使用料		0
一般財源	568	手数料		0
計	13,779	財産収入		0
		寄付金		0
		繰入金		0
		贈収入		0
		その他		0
備考欄				

農052	項目名	土地改良施設維持管理適正化事業費		新規事業
予算書項目	土地改良施設維持管理適正化事業費	ページ	231	所属名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 土地改良施設の定期的な整備補修に対する支援を通じて、当該施設の機能を耐用年数まで全うさせるとともに、土地改良区等施設管理者の管理意識の高揚を図る。			
目 農地費	【事業の目的及び効果】 土地改良区等が土地改良施設を適切に整備補修するための拠出金の一部を補助することで、施設の老朽化による維持管理の負担増を軽減する。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	428	土地改良区が拠出する拠出金への補助		
本年度要求額	428	・大井手土地改良区 総事業費:6,100千円 事業内容:朝月・下味野水路転落防止柵整備補修		
総務部長段階査定額	428	・大口堰土地改良区 総事業費:4,600千円 事業内容:樋門電気設備整備補修 3か所		
市長段階査定額	428	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和2年度 308千円 令和3年度 428千円 令和4年度 428千円(見込)		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	
地方債	0	負担金		0
その他	0	使用料		0
一般財源	428	手数料		0
計	428	財産収入		0
		寄付金		0
		繰入金		0
		贈収入		0
		その他		0
備考欄				

農053	項目名	危険ため池廃止事業費		新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	231	所属名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 (実施計画関連事業)			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農地費	平成30年7月豪雨では、広島県を中心として32か所のため池が決壊し、ため池の下流に大きな被害を与えた。ハード・ソフト両面からの災害に強い地域づくりを推進する必要がある。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	0	使われていない危険ため池を廃止し、地域の防災・減災対策を図る。		
本年度要求額	4,000	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	1,200	未利用の防災重点ため池について、地元から要望のあるものを廃止する。		
市長段階査定額	1,200	・ため池廃止事業：測量設計業務 宮ノ谷堤、宮ノ谷2（越路） 1,200千円		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳		令和2年度 9,051千円		
国・県支出金	1,200	令和3年度 5千円		
地方債	0	令和4年度 15,093千円（見込）		
その他	0			
一般財源	0			
計	1,200			
備考欄				

農054	項目名	ため池ハザードマップ作成事業費		新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	231	所属名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農地費	住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、ため池ハザードマップの作成が急務となっている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	0	災害発生時に迅速・的確な避難を行うとともに、災害による被害の低減を図る。		
本年度要求額	1,400	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	1,400	・ハザードマップの作成（2か所予定）		
市長段階査定額	1,400	八幡池（覚寺） 700千円		
区分	本年度予算額	七谷池（久末） 700千円		
財源内訳		【事業の実績】		
国・県支出金	1,400	令和2年度 11,308千円		
地方債	0	令和3年度 2,657千円		
その他	0	令和4年度 1,705千円（見込）		
一般財源	0			
計	1,400			
備考欄				

農055	項目名	ため池改修事業費	新規事業	○
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	231	所属名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農地費	近年、豪雨等によりため池等の決壊による被害が相次いでいる。平成25年のため池一斉点検調査において、豪雨耐性等が不足しているため池について対策整備を行う。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	0	該当ため池を防災工事することにより、災害時での危険を未然に防止する。		
本年度要求額	15,000	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	15,000	・ため池の改修工事		
市長段階査定額	15,000	湯谷池（倭文） 事業計画策定業務 15,000千円（国100%）		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金 15,000	分担金	0	
地方債	0	負担金	0	
その他	0	使用料	0	
一般財源	0	手数料	0	
計	15,000	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				

農056	項目名	ため池監視システム管理費	新規事業	○
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	231	所属名
年度	R5	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農地費	ため池の下流地域では、豪雨時の浸水リスクが高く、決壊した際の被害も甚大なため、早急な避難が求められる。また、農業用ため池の管理は殆どが地元によって行われている実情があり、雨中での作業は大変危険なものとなっている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	0	遠隔でため池の情報を得ることができる監視システムを導入することで、災害時の迅速な対応を行える。		
本年度要求額	180	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	180	・ため池監視システムの維持経費 3か所		
市長段階査定額	180	新城寺池（玉津）		
		神谷奥堤（西今在家）		
		奥谷口池（横枕）		
		負担区分：県40%、市40%、地元20%		
区分	本年度予算額	※その他財源の負担金は、地元負担金		
財源内訳	国・県支出金 72	分担金	0	
地方債	0	負担金	36	
その他	36	使用料	0	
一般財源	72	手数料	0	
計	180	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				

農057	項目名	中山間地域等直接支払交付金	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	中山間地域等直接支払事業費	ページ	231
-------	---------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農村整備課
-------	----------------

年度	R5
----	----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業構造改善事業費

(単位:千円)

前年度当初予算額	98,450
----------	--------

本年度要求額	102,769
--------	---------

総務部長段階査定額	102,769
-----------	---------

市長段階査定額	102,769
---------	---------

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	76,256
地方債	0
その他	0
一般財源	26,513
計	102,769

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
随収入	0
その他	0

備 考 欄

事業の概要

【問合せ先】総務係 0857-30-8316

【11次総の施策体系】2104(実施計画関連事業)

【事業の経過及び背景】

農業の生産条件が不利な地域における耕作放棄地の増加が懸念されている。

【事業の目的及び効果】

農業の生産条件が不利なため、耕作放棄地の増加等により、水源のかん養や土砂流出防止等の多面的機能の低下が懸念されている中山間地域等において、集落等で協定を締結し、農業生産活動を継続して行う農業者等に対して支援を行うことにより、農業生産の維持と多面的機能の確保を図る。

【事業の内容】

- 中山間地域等直接支払交付金
補助対象：114組織(74,933a)
交 付 額：101,743千円
負担区分：国50%、県25%、市25%(三法地域)
国33%、県33%、市34%(特認地域)
- 事業推進事務費(人件費、事務費)

【事業の実績】

令和2年度 92,388千円
令和3年度 98,840千円
令和4年度 102,757千円(見込)